

2024年4月25日（木）

現行の学習指導要領においては、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められており、学校現場ではその目標に向けて不断の授業改善が重要となります。

本校においては、まずどの子も安心して学べる基盤として「学習規律の徹底と支持的風土の醸成」を全校の共通理解事項として学級づくりを行っています。それを起点として、次は授業の中で「～したい」「～をはっきりさせたい」といった思いをもつような投げかけを行い、友達と対話をしながら解決に向けた取組を行います。

「対話をしなさい」といっても、子供たちは困るだけです。子供たちが話したくなるような「問い」や「仕掛け」が重要になります。本日各学年で見かけた授業では、子供たちが自然に話し合い、解決に向けた道筋を見つけるといったことができていて素晴らしいと思いました。

明日は授業参観と育友会総会があります。子供たちは何らかの「対話的な学び」を展開していると思いますので、その様子を楽しみにしていきましょう。

